

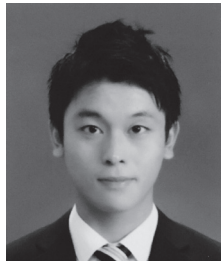
RBS生による授業紹介

RBS生に履修された授業について突撃インタビューを行いました。皆さんも有意義なキャンパスライフをお送りください！

LESSON

ホスピタリティデザイン特講

ホスピタリティデザイン特講を履修したきっかけは日本の食文化とお酒に興味があったからです。グローバル化が進んでいる現在の社会では様々な相互理解をすることは大事ですが、単に言語で行うよりもお酒や食事を嗜みながらコミュニケーションをした方が話も弾みお互いを良く理解することができます。そのため食事と酒がこれからの生活の中で非常に重要な要素だと考えています。



またビジネスの発展には酒や食文化を含め、ビジネスマンとしてパートナーの文化を理解することは不可欠です。新たな価値観や食行動がビジネスに与える影響もあれば、逆にビジネスの発展が人々の食行動や価値観を変えることもあります。本講座ではホスピタリティのプロフェッショナルの方々に教えて頂けるため、民族や宗教、地域、国家等々を越えた食文化や実務的な課題を学ぶことができます。さらに、今回のプロジェクトを通して川越の街並みや酒蔵を実際に見学することができたため、日本の文化やホスピタリティへの関心がより深まりました。(15期生 代紅 彪さん)

LESSON

消費者行動論

私は有料老人ホームを運営する会社にて、主にサービス品質管理の業務を行っています。RBSに入学して良かったことは多岐に渡る授業があるため、それを自由に選択しながら授業を受けられるところが良かったです。また院生の仲間は、非常に様々な経歴や経験をしている方がいてとても視野が広がりました。大変だったことは、私の場合は週5回授業を受けていたので、仕事との両立で肉体と精神の限界に挑むことになりました(笑)



履修した授業の中であえて一つに絞るのであれば、笠原英一先生の消費者行動論をオススメします。かなり専門的で体系的に学ぶ事ができるのと同時に、授業の中で経営戦略についての補足講義を行ってくれるのも非常に魅力的でした。授業は、インタラクティブ形式で、グループワークをしながら知識を深めていく形です。

新入生のみなさんには学校という設備、授業、先生、仲間などの資源を有効活用し、充実した大学院生活をお送り頂ければと思います。(15期生 畑 一道さん)

LESSON

CFP®認定教育プログラム

私は外国人留学生として卒業後に日本での就職を目指しています。FPコースに応募した理由は就職のための資格習得だけでなく、その学習内容も魅力的だと感じたからです。自分の生涯における財産のプランを立てることができ、また日本で生活していく上で必要な保険や不動産、税金などの勉強もできました。自分のためになる上、人の人生もプランするという責任感や使命感も持てるやりがいのある資格だと思います。



本来は独学するかお金をかけて塾に通わなければ習得できない資格ですが、立教大学のビジネスデザイン研究科では指定科目を履修して提案書を提出することで取れるため良いチャンスだと思い挑戦しました。

そのため私が参加した授業は「企業財務基礎」、「国際金融論」、「リスクと保険」、「パーソナルファイナンス1・2」、「相続・事業承継設計」と「不動産運用設計」です。新入生の方々も是非チャレンジしてみてください。(15期生 金 玲さん)

LESSON

コンサルティングメソッド

私は大学の非常勤講師として主にホスピタリティ論を教えるかわら、企業などへ接遇研修も行っています。その中で、現場のパフォーマンスをあげるには経営陣の意識や関わり方も改善する必要があると感じ、経営について体系的に学ぼうとRBSに入学を決意しました。



入学以来、刺激に溢れる毎日を過ごしていますが、多彩な講義の中でも特に「コンサルティング・メソッド」についてご紹介します。この授業は、4.5人のチームで、実在の中小企業に対して新規事業を提案することがゴールです。その過程で、知識として学んだ分析手法を実際の社会にどのように活用できるか、経営者の意向をいかに汲み、その企業の強みをどう活かすか、さらに発展させるための事業をどのように構築し提案していくかなど、毎週仲間と悩み議論しながら多くのことを学びました。チームメンバーや担当企業との相乗効果を実感できる素晴らしい授業ですので、是非履修をお勧めします。(15期生 安宅真由美さん)